

マタイの福音書 第7章 13節

「狭い門から入りなさい。滅びるに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこから入って行く者が多いのです。」

門はこちらからあちらの世界へと変わる起点です。社会活動をし、我が家の門をくぐる時、なんとも言えない安心感があります。競った世界から、そのまま受け入れられ憩う場への通過点が門です。普段あまり気にとめられない門が、気分を変えていることは皆経験しています。

ただいと、門をくぐる。そこに家族が当たり前のように居ます。実は、当たり前のことではなく、日々喜怒哀楽を共にし、培ってきた特別な場です。この特別な場の感じ方は、門を通る前から、すでに身にしみこんでいます。この家庭の門は行く先がどこでもよいと言うわけではありません。また、どこに行くのかも分からないわけではありません。この門は唯一無二の家族に導く門です。だから、門を通り、そこで憩い平安を味わいます。

狭い門から入りなさいの呼びかけは、ここしかない唯一無二の場への導きと、門を開く強い意志を現わします。この強い招きをさらに強固にする言葉が、大きい門を通る者の顛末です。大きさに誘惑される者が多いと指摘します。多く通る門が、滅びに至ることを明らかにします。